

12/13

未来は自分次第

人権講演会&演奏会を開催



人権講演会&演奏会が12月13日にシグナスで開催され、約150人が参加しました。

この講演会は、人権尊重の社会づくりを促進し、町民の人権意識を高めることを目的に毎年開催されています。

今年は、津軽三味線奏者の永村幸治さんを講師に迎え、「未来は自分次第～津軽三味線にかけた人生～」と題した講演が行われました。永村さんは演奏を交えながら、津軽三味線と出会ってからの歩みや経験を語り、参加者は演奏と語られるメッセージの両方に耳を傾けていました。

講演会後は、三味線、ドラム、ピアノがコラボレーションした津軽三味線の演奏会が行われ、伝統と現代が見事に融合したパワフルで豊かな音楽が共鳴し、会場は大きな拍手に包まれました。

参加者からは「永村さんの演奏を聴いて、音楽が持つ力を改めて実感した」、「心に残るお話と音楽の力が合わさって、努力は裏切らないというメッセージがより深く心に響いた」などの声が寄せられました。



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町的话题をお伝えしていきます。

広報つばた

1

CONTENTS

- 02 新年のあいさつ
- 03 津幡町10大ニュース
- 04 まちのNEWS!
- 07 オーケストラ・アンサンブル金沢公演
- 08 暮らしの情報
- 19 マイナンバーカードなどの更新手続き「証明書」などの様式変更
- 20 民生委員・児童委員
- 21 人事行政
- 22 除雪機の事故に注意
- 23 友だちリレー、Cook Do どう？
- 24 図書館へおいでよ
- 25 つばた空港、こども科学館
- 26 ケーブルテレビ番組表
- 27 赤ひげ通信、文芸
- 28 手話、フィットネス、QUIZ
- 29 慶弔だより
- 31 こどもの広場
- 33 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 35 イベントカレンダー

今月の表紙



第4回津幡かるた大会

今月の表紙は、12月14日に福祉センターで行われた第4回津幡かるた大会の様子です。

「津幡かるた」は、子どもたちにふるさとへの愛着を深めてもらうことを目的に制作され、町の名所・歴史・著名人などが45枚の札で紹介されています。

今回は327人の小学生が学年ごとに分かれて対戦しました。3試合の勝敗と合計獲得枚数で順位を競い、子どもたちは勢いよく手を伸ばし、札を取り合いました。試合の終盤になるにつれて緊張感も高まり、最後まで真剣な表情で取り組んでいました。(北方)



12/1 イルミネーションで能登を応援 イルミネーション 点灯

今回で20回目となるイルミネーションが、津幡中央公園で12月1日に点灯を開始しました。

今回は、心をつなぐに能登復興へのエールを込めて、ハートのオブジェと「がんばろう!能登」と書かれた看板を中心に、色とりどりのイルミネーションを設置しました。

シグナス通りを温かく照らす華やかな光に、道行く人は足を止めて楽しそうに眺めたり、写真を撮影したりしていました。

このイルミネーションは、1月30日までの期間中、毎日17時から21時まで点灯しています。



11/30 怒りをコントロールしよう アンガーマネジメント

「よりよく子どもと関わるためのアンガーマネジメント講演会～イラッ・むかっ・カチンと上手につき合おう～」が11月30日に福祉センターで開催され、子育て中の父母など22人が参加しました。

アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手につき合う方法です。講師に株式会社ハートデザイン代表取締役の中村清美さんを迎え、怒りの感情と上手につき合う方法や、日常生活で使えるコツを楽しく学びました。

参加者からは、「自分の感情と向き合う時間になった」、「ストレスマネジメントを実践しようと思う」などの感想が寄せられました。



12/4 手話奉仕員養成講座 10人が基礎課程修了

津幡町手話奉仕員養成講座の基礎課程が12月4日に修了し、10人に修了証が授与されました。

この講座は、聴覚障害者との円滑なコミュニケーションを支援できるよう、聴覚障害に関する知識や生活への理解を深めつつ、日常会話に必要な手話を学ぶものです。講座は入門課程と基礎課程に分かれており、今回の基礎課程では、入門課程を修了した方が、より詳しい手話を学びました。

受講者は、基本文法を中心に学びながら、手話の表現能力、読み取り能力の向上を図り、聴覚障害者との交流を通して実践的なコミュニケーション力を高めました。



11/30 シグナス・ウインド・オーケストラ 第13回 定期演奏会

町に縁があるメンバーで構成される吹奏楽団「シグナス・ウインド・オーケストラ」による第13回定期演奏会が11月30日にシグナスで開催され、約500人が来場しました。

演奏会は2部構成で行われ、第1部ではクラシックの名曲が演奏され、第2部では親しみやすい楽曲やポップスなど、幅広い曲が披露されました。

また、スペシャルゲストとして登場した町内在住の能楽師、岩井嘉樹さんによる能舞との共演では、幻想的な舞と大迫力の演奏のコラボレーションが会場を包み込み、来場者からは大きな拍手が送られました。

12/6

科学のまち・つばた 科学の祭典

科学の魅力に触れる

「科学のまち・つばた 科学の祭典」が12月6日にシグナスで開催され、約1,600人が来場しました。

このイベントは、科学の楽しさやおもしろさ、不思議さなどの「科学の魅力」を、大人から子どもまで体験してもらう機会として、毎年開催されています。

ホールでは、らんま先生によるエコ実験パフォーマンスショーが行われました。石川県住みます芸人のぶんぶんボウルと一緒に、中国こま「ディアボロ」や巨大空気砲を使った実験が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。

こども科学館では、津幡町出身のよしもと芸人テンブルカントリーが小林館長と一緒に、スライム作りを行いました。また、イルミネーションランタンを作る体験や液体窒素を用いた実験、プラネタリウムなども人気を集めました。

このイベントの様子は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で1月11日から放送予定です。



12/7

あい・らぶ・つばた

津幡ふるさと検定

津幡ふるさと検定が12月7日に町役場で行われ、町内外から17人が受験しました。

この検定は、町への愛着を深めるとともに、児童生徒の「ふるさと教育」や観光ボランティアガイドの人材発掘・育成に繋げることを目的に企画されたもので、今回で18回目を迎えます。

難易度別に、初級編・中級編・上級編に分かれており、津幡町に関する歴史や文化、自然、産業など幅広い分野から出題され、50問中40問以上の正解で合格となります。

合格者には合格証と町大河ドラマ誘致推進キャラクターのストラップが贈られました。

12/6

一寸先は詐欺

権利擁護研修会

権利擁護研修会が12月6日に福祉センターで行われ、50人が参加しました。

この研修会は、特殊詐欺に関する知識や犯罪事例を知ることで、防犯に対する意識を高めることを目的に開催されました。

講師に町消費生活センターの職員のほか、津幡警察署の江上祐樹さん、藤野法律事務所の角藤佑樹さんを迎え、特殊詐欺やSNS詐欺の手口の紹介や被害を防ぐための対策方法について説明がありました。

参加者からは「犯罪事例を聞いて身近に感じた」、「他人事ではないと感じた」という声が寄せられました。